

御田小だより

～ みんな元気 たのしい 御田小 ～



港区立御田小学校 学校便り
平成31年1月8日 No. 9
発行者 御田小学校長 濱尾敏恵

新しい時代を担う子供たちに「生きるエネルギー」を

校長 濱尾 敏恵

あけましておめでとうございます。例年とは少し違った思いをもちながら、新たな年を迎えました。今から30年前、「この元号には、平和が達成されるという意味が込められています。」と、「平成」と黒板に大きく書き、子供たちに説明したことを覚えています。その「平成」の時代も残り4か月となり、「平成最後の…」が枕詞とする催しごとが多くなるなど思っていたところ、「平成最後の年賀状送りましょう。」との某アイドルのCMが効いたのか、例年より多くの年賀状が届きました。中でも、教え子の近況が書かれた年賀状を拝見できる楽しみは、教師冥利につきるというもの。冗談ひとつ言わなかった硬派な子がバンドのボーカルとしてライブ生活を満喫していたり、学級のリーダー的存在、海外で働くことが夢だった子が、「すっかり子供中心の生活です。」と、早々と幸せな家庭を築いていたり、毎年必ず、予想外の報告が含まれます。最近一番のサプライズといえば、6年生のとき担任をした女の子からの報告でした。(全校朝会でも話題にしました。)卒業から10年が経ち、現在は、カリフォルニアの大学に通っています。この教え子は、力があるのに、人からの評価に敏感、人前での失敗に不安感が高く、友達と比べ自分を否定的に捉えてしまう傾向がありました。それが今は、演劇学部に所属し、この春には声楽のリサイタルを行い、自分が作曲した作品で、自分が主役のオペラを上演することが夢とのこと。別人と思えるほどの変容ぶりに驚き、きっかけを尋ねると、「アメリカの中学校の仲間のおかげ。」との感謝の言葉が返ってきました。英語もままならないまま現地校へ通うことになり、周りを見て失敗しないように必死に行動していた教え子。それでも途方に暮れることは多く…。しかしクラスメイトは、そんな彼女をさげすむどころか、失敗をユーモアで返し、彼女の落ち込んだ気持ちを盛り上げてくれたそうです。「何かあってもこの仲間が支えてくれる」という経験が、自分を前へ前へと導いてくれたと言っていました。さらに、「音楽の授業のときのこと忘れられない。」と話は続きます。得意のピアノで「さくら」の演奏をしたときのこと、終わるや否や、仲間から称賛の拍手が沸き起こり、口笛が鳴り響いたのだそうです。「異国の地において自分が初めて『認められた』ことを実感した。」と笑顔で語ります。この出来事によって自信が生まれ、音楽の道に進む決意につながったというのですから、まさに、「人生を変えた瞬間」だったのでしょ。

この教え子の話を聞き、私が東京都教職員研修センター(以下:センター)に勤務していたとき、学ばせていただいたことが想起されました。その頃センターでは、心理学者ローゼンバーグの考えを基盤に置いた「自尊感情や自己肯定感」の研究を行っていました。ローゼンバーグは、「自尊感情」について、自分を「とてもよい(very good)」と考える側面と、自分を「これでよい(good enough)」と考える側面があると言っています。前者は、他者との比較を基に「優劣」を基準に置く考え方なので、肯定的な評価を受けられないと自分の優越性を感じることは難しくなります。対し後者は、自分の中の価値基準をベースとして自分の否定的な面も受容する考え方であり、自分なりの満足を感じる感覚です。前者の感覚はなかなか切り離せないものではありませんが、センターでは、後者の「自己受容」を意味する「自尊感情」を高めていくことこそが、子供たちの自信ややる気を高めていくために必要であると捉えました。そこで、次の5つの観点に留意した指導・支援が大切であると考えたのです。これらは、地域・家庭との連携があって効果が高まるものです。

- ・自分ができたことや頑張ったこと、得意なこと、よさ等に気付くとともに、自分の行動や考え方を受け止め、自信をもつ。
- ・集団や様々な人間関係における自分の役割に気付くとともに、周りの人のために役に立っていることを理解する。
- ・自分の考え方や行動そのもののよさを理解するとともに、周りの人の多様な考え方を知り、受け止める。
- ・多様な集団の中で活動し、人とかかわりを広げるとともに、周りの人の支えがあって自分の活動が充実していることを理解し、感謝の気持ちをもつ。
- ・自分の行動の達成感を感じるとともに、失敗や困難は自分一人だけではないという安心感を持ち、努力すればできるという自分への可能性をもつ。

これら5観点の経験を重ね、自尊感情の高まりを具現化した姿こそが、まさしく、生きるエネルギーに満ちあふれている教え子の姿であると実感したところです。

日本の若者の自己肯定感は、諸外国と比べ、変わらず低い状況にあります。(平成26年内閣府調査による)これから迎える新しい時代を担う目の前の子供たちが、自分の可能性を信じ、周りの人と力を合わせながら、様々なことにチャレンジしていける「生きるエネルギー」を高められるよう、今年も教職員一同、力を合わせ努めてまいります。保護者の皆様、地域の方々におかれましては、引き続き、御田小学校の子供たちの健やかな成長のためにご支援、ご協力を賜りたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

「コンピュータクラブ」

コンピュータクラブ担当 大柴 由雄
 コンピュータクラブでは、クラブ長を中心に、子供たちで課題を決めて活動に取り組んでいます。タブレットPCとワードなどのソフトを使って、今年は自己紹介カード、カレンダー、しおりを作りました。文字の入力やタブレットの扱いに苦労している子供もいますが、徐々に扱いにも慣れ、少しずつできることが増えてきています。学年関係なく、教え合いながら取り組める子供たちです。「次は他のものも作ってみたい。」「コンピュータを使って、こんなことができそう。」とみんな、クラブの時間を楽しみにしています。子供たちが作品を持ち帰った際には、ぜひ一緒にご覧ください。

「4年生は今」

第4学年主任 油 史枝

4年生は、3月末までに全員が10歳の誕生日を迎えます。ちょうど10年の節目に当たり、今まで育ててくださった保護者の方々や、お世話になった方への感謝の気持ちを伝えるとともに、自分の成長を振り返る二分の一人式を計画しています。

それに先駆けて、12月の道徳の時間には、マンガ「ドラえもん」で、のび太くんが生まれた時にタイムスリップする「ぼくの生まれた日」という話を学習しました。保護者の皆様から子供宛ての手紙を書いていただき、心温まる授業となりました。

1月は、子供たちが感じた家族からの愛情を胸に、二分の一人式での発表内容を話し合います。4年生全員が10歳になった喜びを感じることができる式になるよう指導していきます。

「みたルームから」

巡回指導教員 鍵本 悠理子

みたルームでは、子供たちが自分の良さに気づき自信をもてるようにすることを大切にしています。

子供たちはみたルームに来ると、最近頑張っていること、努力してできるようになったことなどを嬉しそうに話してくれます。みたルームで学習したことを生かし、明るく学校生活を送っている様子を知り、私も嬉しく思っています。

3学期も子供たちが、自分の成長を感じながら充実した生活を送り、自信をもって次の学年を迎えられるように、指導をしていきます。

【道徳授業地区公開講座のご案内】

- ・期日 1月19日(土)
- ・授業公開
9時35分～10時20分
- ・講演会 テーマ「家庭、地域社会、学校で育てる豊かな心」
10時40分～11時25分
- 講師 長谷 徹先生
(元東京都小学校道徳研究会会長 元港区立麻布小学校校長)

1月の生活目標

言葉づかいに気を付け、礼儀正しくしましょう

日	曜	行事予定
1	㊄	元日
2	㊅	
3	㊆	
4	㊇	
5	㊈	
6	㊉	
7	㊐	冬季休業日終
8	火	[全]始業式 給食なし
9	水	[ス]B時程 書き初め会(1～4年)
10	木	安全指導 書き初め会(5.6年)
11	金	
12	㊑	
13	㊒	
14	㊓	成人の日
15	火	[全]書き初め展始 計測(5.6年)
16	水	[読]区教育研究会 4時間授業 避難訓練 計測(1年)
17	木	校外学習(5年) 計測(3.4年)
18	金	たてわり班活動 計測(2年)
19	土	土曜授業日 道徳授業地区公開講座 学校評議員会
20	㊔	
21	月	[全]委員会・代表委員会
22	火	校外学習(5年)
23	水	[ス]4時間授業 研究授業3-2のみ5時間授業
24	木	[体2、4、5年]書き初め展終
25	金	[体1、3、6年]B時程
26	㊕	御田小家庭読書の日
27	㊖	
28	月	[全] 校外学習(3年)
29	火	[マ]
30	水	B時程 漢字検定
31	木	[マ]

[全]全校朝会 [ス]スピーチ活動 [集]集会
 [体]体育朝会 [音]音楽朝会 [読]リーディングツリー
 [GT]ゲストティーチャー [マ]マラソン(5分間走)

【奥村 真紀カウンセラー来校日】

8日(火)、21日(月)、28日(月)

【八木澤 美奈子カウンセラー来校日】

10日(木)、17日(木)、24日(木)